<table>
<tr><td colspan="3">少子高齢化社会の安心対策特別委員会記録</td></tr>
<tr><td>１ 会議の日時</td><td colspan="2">令和３年１２月１５日
開　会　　午前　９時５９分
閉　会　　午前１１時１４分</td></tr>
<tr><td>２ 会議の場所</td><td colspan="2">厚生環境委員会室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">３ 出　席　者</td><td>委員</td><td>委員長　尾藤義昭　副委員長　水野正敏
委　員　森　正弘　山本勝敏　加藤大博
林　幸広　高殿　尚　国枝慎太郎
中川裕子　今井政嘉</td></tr>
<tr><td>執行部</td><td>別紙配席図のとおり</td></tr>
<tr><td>４ 事務局職員</td><td colspan="2">主　査　早野ひとみ
主　査　水野　恵</td></tr>
</table>

5　会議に付した案件

件　　名	審 査 の 結 果
１．少子高齢化社会の安心対策に関する調査について 　○「女性が活躍し、子どもを産み育てやすい地域づくり」について 　　参考人 　　株式会社羽島企画 　　代表取締役　宇野　恵利子　氏 ２．その他	

６ 議 事 録（要点筆記）

○尾藤義昭委員長

ただいまから、少子高齢化社会の安心対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、少子高齢化社会の安心対策に関し、今年度の調査項目のひとつとしている「女性が活躍し、子どもを産み育てやすい地域づくり」についてを議題とし、ご協議いただくため開催したものである。

本日は、執行部のほか、議題について、現状と展望をご報告いただくため、「株式会社　羽島企画　代表取締役　宇野恵利子　様」にご出席いただいている。

宇野様におかれては、大変ご多忙中のところ、お越しいただき、誠に感謝する。

宇野様は、短大卒業後、子育てをしながら幼稚園教諭などに従事。意欲のある主婦や母親が働きやすく活躍できる場を作り出そうと四十五歳の時に起業し、掃除や家事の代行、ベビーシッターなど、女性の視点と経験を活かせるサービスを提供。現在は、介護事業を中心に子育て支援や人材育成など幅広く展開されている。

是非、活発な意見交換ができればと思うので、よろしくお願いしたい。

質疑については、ご報告終了後にお願いする。

（報告　参考人　株式会社羽島企画　代表取締役　宇野恵利子氏）

○尾藤義昭委員長

ただいまの説明に対し質疑はないか。

○加藤大博委員

色々な家庭環境の職員がいると思うが、フルタイム勤務職員の割合はどの程度か。

○宇野参考人

シフト調整等により勤務環境整備を図っており、ほとんどの職員がフルタイム勤務である。 介護保険制度が始まった2000年頃は、訪問介護が主流であり、女性の働きやすい時間だけ勤務するパートの形が多かったが、今は施設系が多くなり、勤務時間が長く、シフトに合わせながら働くため、ほとんどがフルタイムとなっている。

○加藤大博委員

行政からの支援に頼らず先進的な取組みをされてきたが、事業規模が大きくなり、色んな立場の職員を受け入れ働いている中で、今後、行政に求めることはあるか。

○宇野参考人

県主催のイベント等に講師として参加すると、25年近く前と同じように、今も母親は迷いの中にいる、相談先が分からず悩んでいる女性が多いと感じる。行政の力は強いので、企業と行政が共に情報発信していくことが重要であると思う。

○加藤大博委員

具体的に制度を作ることよりも、一緒になって、輪に入り、情報発信や悩み事を聞いてもらうということでいいのか。

○宇野参考人

それでいいと思う。一方的に制度を作って出すのではなく、本来は、母親と子どもがいて、彼女たちが何を求めているのか聞いてあげることが大切。

○国枝慎太郎委員

女性の働き方について、扶養の枠があるため昇給や時給を上げても逆に働ける時間が短くなってしまうという悩みを企業から聞いた。扶養控除制度により女性職員が勤務時間を制限してしまうことについてどう思われるか。

○宇野参考人

制度上致し方ないが、過去に扶養控除制度の廃止が立ち消えとなった際には残念な思いをした。特に介護現場では、その人がいることの価値が大きく、流れ作業で次々人が交代したらいいというものではない。しかし子どもがある程度大きくなったらフルタイムで働くという女性が増えており、子育てが一段落した後にフルタイム勤務できる体制を整えるなど、企業側が勤務環境を整備する努力が必要だと思う。

○林幸広委員

介護人材不足が問題視されているが、どう考えるか。

○宇野参考人

自身が起業した頃と比べ、職員の意欲低下による離職率は増加していると感じる。介護をしたいという強い気持ちの職員が多かったが、今そういった方は高齢化しており、次の世代が育っていく中で、そこまでの熱い気持ちが介護にあるのかが違う。介護だったらできる、入りやすいという雰囲気があり、そうやって入ってきた人に対し、スキルだけでなくマインドをうまく育てていかないとすぐ離職してしまうと思う。職員が増えれば相対的に離職してしまう人も増えるが、その中でも必ず育つ人はいる。就職後の人材育成により、外国人技能実習生を含めた職員の意欲向上を図っている。

○山本勝敏委員

立ち上げの時の苦労や、創業期のことを聞きたい。よほど強い思いがないとこういったことはできないと思う。

○宇野参考人

自己責任で始めたことであり、家族の手伝いは受けなかった。ただ、自分が好きなことを好きで始めたことであり、苦しかったが、幸せでもあった。

○中川裕子委員

起業を望む女性に対してどのようなサポートが重要と考えるか。

○宇野参考人

自身の起業時は資金の借入れで苦労したこともあったが、現在は支援制度が充実しており、起業しやすい環境が整っているのではないか。 ただ、簡単にできたら一生懸命になれず楽しくない、簡単じゃないから頑張れた部分もある。

○高殿尚委員

貴社の人材育成プログラムで、教育や農業など他の業界で活用できるようなプログラムはあるか。

○宇野参考人

どの業界であっても、本人の意欲向上を図ることが重要であると考える。 マインドは本当に大切である。

○森正弘委員

女性が社会参加したいと言う時にハードルとなることに一つ一つ相談に乗り対応するなど、子育て世代の女性に丁寧に寄り添った勤務環境整備や地域貢献に積極的に取り組まれた結果、地域や社員に社長の思いが伝わり、離職の少なさや、事業拡大につながったと思う。今後も、地域から喜ばれる企業として益々のご活躍を期待している。

○今井政嘉委員

同じような福祉の現場において、多くの職員がいて、些細な人間関係のトラブルが原因で離職する人を見てきた。介護の専門的なものばかりでなく、職員間のコミュニケーション力向上に向けた研修等は実施しているか。

○宇野参考人

研修は実施していないが、施設間でのイベント開催など、職員同士が関わる機会を創出している。

○水野正敏副委員長

貴社の取組みを女性職員が多い他企業などに共有していただくことで、次世代に向けた社会の形が見えてくると思う。これからも様々なご提案をいただきたい。

○尾藤義昭委員長

質問等も尽きたようなので調査項目については終了する。なお、本日の議題は終了したが、この際、他に何かご意見等よろしいか。また、執行部の方、よろしいか。

○安江子ども・女性局長

県の「ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定や厚生労働省の「はたらく母子家庭・父子家庭応援企業」の表彰を受けておられるなど、先頭を切って施策を推進いただくとともに、男女共同参画・女性の活躍支援センターの講師としてもご協力いただいていることに感謝申し上げる。

最近、核家族化が進む中で、近隣の手が借りられないという声も聞いている。ベビーシッターや家事援助の事業をされておられるが、現在、そのような事業のニーズはどのような状況か。

○宇野参考人

かつては３人のお子さんがいる中にベビーシッターとして入っていく例もあったが、現在では、０歳から預けられる環境が整ってきており、ベビーシッターのニーズはほぼないと感じている。

事業所が増えてきたことも要因としてあるかもしれない。

○崎浦男女共同参画・ 女性の活躍推進課長

マインドアップ講座や先輩ママの座談会でご協力いただいており、行政だけが取り組むのではなく、一緒になって取り組んでいただけることを大変心強く、ありがたいと感じている。引き続きよろしくお願いしたい。

○尾藤義昭委員長

ご意見も尽きたようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

少子高齢化社会の安心対策特別委員会 配席図

令和3年12月15日（水） 午前10時～
厚生環境委員会室

出入口

広瀬 労働雇用課長	渡辺 産業人材課長	若山 地域振興課長	松本 教育総務課長	森 医療福祉連携推進課長	伊藤 医療整備課長	森 地域福祉課長	赤尾 保健医療課長兼健康推進室長	柴田 国民健康保険課長
有田 高齢福祉課長		関谷 障害福祉課長	安村 子ども家庭課長		中畑 男女共同参画・女性の活躍推進課男女共同参画推進監	丹羽 子育て支援課主幹兼母子保健係長		高田 子育て支援課少子化対策企画監
大野 健康福祉政策課長		長沼 健康福祉部次長		篭橋 健康福祉部次長		崎浦 男女共同参画・女性の活躍推進課長		笠井 子育て支援課長
参考人席	参考人席			堀 健康福祉部長		安江 子ども・女性局長		平野 子ども・女性局副局長

PC

中川 委員	○	○	今井 委員
高殿 委員	○	○	国枝 委員
加藤 委員	○	○	林 委員
森（正） 委員	○	○	山本 委員
尾藤 委員長	○	○	水野（正） 副委員長

出入口

参考人

スクリーン